

産業医科大学病院

救急科専門研修プログラム

「救急対応のプロフェッショナル」を目指せ

ミッション

「救いえる命を一人でも多く救う」
そして「救いえなかった命を一人でも多く救う」

1. 産業医科大学病院 救急科専門研修プログラムの特徴

- ・北海道から沖縄まで、多種多彩な関連病院（表 1）があり、種々な救急診療を学ぶことができる
- ・希望に応じて多種（重症～walk-in、外傷、手術、ICU から内科診療、精神科診療）の救急診療を学ぶことができる
- ・エビデンスに基づいた質の高い、安全な救急医療を楽しく学ぶことができる
- ・勤務時間は日勤・夜勤制で、無理なく勤務可能。時短、育休などフレキシブル勤務可能
- ・自己研鑽だけではなく、研究や教育も携わることができる

救急のプロフェッショナルを目指し、心停止、多発外傷、救急外来での緊急開胸開腹手術から walk-in からまであらゆる患者を診察します。現在、救急科で対応した骨折は救急科で手術から退院まで管理していますが、2016 年 10 月からは急性腹症も手術から退院まで救急科で対応します。また、希望者は、TAE や脳梗塞に対する血管内治療などの IVR、PTCA や緊急内視鏡なども学ぶことができます。重症患者管理から一般病棟管理も担当し、ICU では経験豊富な ICU 専門医（4 名）とともに重症者管理を学びます。

また、病棟でも、エビデンスに基づいた呼吸循環管理や術後管理を学びます。勤務は日勤または（実質）夜勤制で、宿直者は夕方出勤、翌日 AM までの勤務です、女性でも男性でも必要時には時差出勤や時短勤務、産休、育休の取得が可能です。勤務体系については相談に応じます。

表1 専門研修連携施設 (これらの病院での研修が可能 1~24ヶ月)

-
- ・ J A北海道厚生連 遠軽厚生病院 救急センター
 - ・ 川越救急クリニック
 - ・ (基) 聖路加国際病院 救命救急センター
 - ・ (基) 武蔵野赤十字病院 救命救急センター
 - ・ (基) 独立行政法人労働者健康福祉機構 横浜労災病院 救命救急センター
 - ・ (基) 横浜市立みなと赤十字病院 救命救急センター
 - ・ (基) 名古屋掖済会病院 救命救急センター
 - ・ トヨタ記念病院 救急科
 - ・ 小牧市民病院 救命救急センター
 - ・ (基) 京都第二赤十字病院 救命救急センター
 - ・ 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 救命救急センター
 - ・ (基) 独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院 救命救急センター
 - ・ (基) 北九州市立八幡病院 救命救急センター
 - ・ 北九州総合病院 救命救急センター
 - ・ (基) 健和会 大手町病院 救急科
 - ・ (基) 独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院 救急科
 - ・ 小倉記念病院 救急部
 - ・ 独立行政法人労働者健康福祉機構 九州労災病院 救急部
 - ・ 社会医療法人陽明会 小波瀬病院 救命救急科
 - ・ 戸畑共立病院 救急科
 - ・ (基) 社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター
 - ・ 川越救急クリニック
 - ・ (基) 熊本赤十字病院 救命救急センター
 - ・ 福岡新水巻病院
 - ・ 埼玉医科大学総合医療センター
 - ・ (基) 鹿児島市立病院 高度救命救急センター
-

(基)：これらの病院が基幹のプログラムに産業医科大学が入っているもの：相手のプログラムに入っても産業医科大学での研修ができる

2. ミッションと「救急対応のプロフェッショナル」を目指した基本姿勢

教室のミッションとして、「**救いえる命を一人でも多く救う**」を掲げています。

早期の発見、適切な病院前救護／病院初療／重症患者管理／根本治療を行うことによってまだまだ救える命があるはずです。

そのため、われわれは、市民の方々への啓蒙、救急体制の整備、救急スタッフの質の向上を行い、一人でも救える方を多くすることが使命と考えています。

さらに、救急関連の新たなシステム、診断法、治療法を開発することによって、将来のミッションとして、

「**救いえなかった命を一人でも多く救う**」として、現代の医療では救えない方の命も救える体制を築くことを目標としています。

我々は「**救急対応のプロフェッショナル**」を目指し、基本姿勢として、

1. 自分、所属、病院に誇りをもつ
2. 一人一人が質を高める意識を持つ
3. 楽しく、Happy に働く
を掲げています。

詳細は、「[産業医科大学病院 救急科専門研修プログラム](#)」をご覧ください。

「産業医科大学病院 救急科専門研修プログラム」目次

1. 救急科専門医の理念と使命
2. 産業医科大学病院 救急科専門研修プログラムの特徴
3. 専攻医の到達目標（修得すべき知識・技能・態度など）
4. 救急科専門研修の方法
5. 救急科専門研修の実際
6. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得
7. リサーチマインドの養成および学術活動に関する研修計画
8. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性
9. 施設群による研修プログラムおよび地域医療の考え方
10. 年次毎の研修計画、専攻医研修ローテーションモデル
11. 専門研修の評価と方法
12. 研修プログラムの管理体制
13. 専門研修指導医の研修計画
14. 専攻医の就業環境
15. 専門研修プログラムの改善方法
16. 修了判定
17. 専攻医が研修プログラムの修了に向けて行うべきこと
18. 研修プログラムの施設群
19. 専攻医の受け入れ数
20. サブスペシャルティ領域との連続性

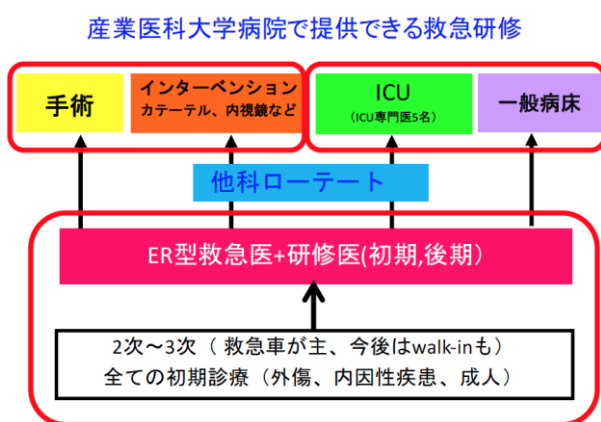
- 2 1. 救急科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件
- 2 2. 専門研修実績記録システム、マニュアル等
- 2 3. 専攻医の採用と修了
- 2 4. 応募方法と採用
- 2 5. 産業医科大学の卒業生へ

3. 研修プログラムの基本モジュール

研修領域ごとの研修期間は、産業医科大学病院での研修（救急科、ICU や他診療科ローテーション）1～2年、地域での救急診療1～2年としています。

研修の順序は臨機応変に実施でき、最初に地域での救急診療を行い、その後に産業医科大学で研修することも可能です。複数の連携病院で研修することも可能ですが、産業医科大学には最低1年研修することが必要です。なお、救急科指導医専門医がない施設での研修は1年までです。

産業医科大学では、救急診療以外に、希望によりICU、放射線診断、IVR、手術（外科、整形外科等）、内科や精神科ローテートなど種々な研修を選択することができます。

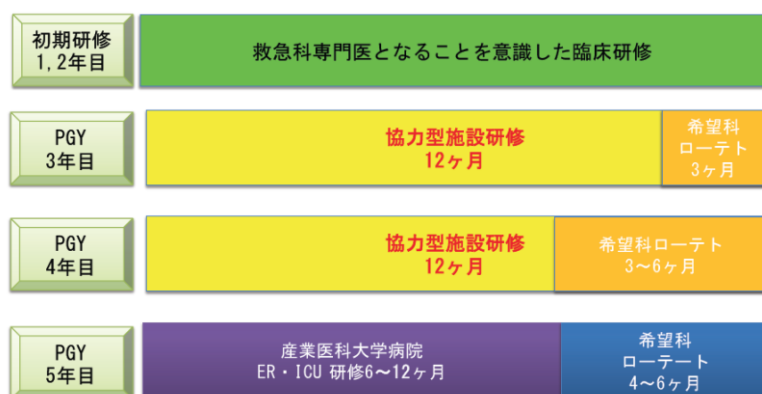


産業医科大学病院中心コースの一例



協力型施設を複数回することも可能です。

協力型病院研修重視コースの一例 (新指導医が1名以上の施設)



ただし、産業医科大学での研修を1年から2年間行うこともできる。
また、協力型施設を複数回することも可能です。

協力型病院研修重視コースの一例
(新指導医がない施設)



産業医科大学での研修を1年として、協力型施設を複数回することも可能です。

4. 産業医科大学の卒業生へ

産業医科大学卒業生は就学資金返済のための義務年限があります。卒後3~6年の間に、最低1年6ヶ月は産業医科大学病院で勤務してはなりません。卒後3~5年で1年6ヶ月は産業医科大学病院で勤務し、所属している医局が認定すれば、6年目は自分の希望する病院で勤務することも可能です。救急科としては、自由に病院を選択できるこの時期に最大限皆さんの希望を叶えてあげることができるように支援したいと思っています。自分で進路を決める前に、まず、気軽に相談してください。

集中治療専門医を目指す方も基盤領域の麻酔科か救急科の専門医を取得することが必要です。

また、総合診療科も併設され、総合診療専門医の取得を希望される方は、総合診療専門医プログラムを参照してください。

相談先： 〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1
産業医科大学病院 救急科
TEL： 093-691-7516
E-mail： er@mbox.med.uoeh-u.ac.jp
担当： 賀久道明、真弓俊彦